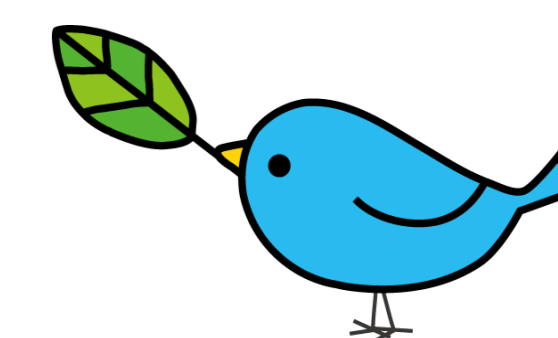




新人研修計画 2017 (看護局) No1

彦根中央病院看護局2017

	番号	目 標	到達の目安	研修方法	日 時	講 師	理解度%	この研修で学んだこと、疑問に思ったこと
看護職員として必要な基本的姿勢と態度	①	1) 医療倫理・看護倫理に基づき、人間の生命・尊厳を尊重し患者の人格を擁護する	I : できる	講義	4/1 13:30 ~ 15:45 会議室	山田局長		
		2) 看護行為によって患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	I : できる	講義				
		3) 職業人としての自覚を持ち、倫理に基づいて行動する	I : できる	倫理に関するグループワーク実施				
		グループワーク					16:00~ 16:30	
	②	1) 患者・家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する	I : できる	講義	4/2 13:30 ~ 15:45 会議室	山田局長		
		2) 患者を一個人として尊重し、受容的・共感的態度で接する	I : できる	講義				
		3) 患者・家族が納得できる説明を行い、同意を得る	I : できる	講義				
		4) 家族の意向を把握し、家族にしか担えない役割を判断し支援する	II : 指導の下で出来る	講義				
		5) 守秘義務を厳守しプライバシーに配慮する	I : できる	講義				
		6) 看護は患者中心のサービスであることを認識し、患者・家族に接する	I : できる	講義				
	グループワーク					16:00~ 16:30		
	③	1) 病院及び看護部の理念を理解し行動する	II : 指導の下で出来る	講義	4/5 13:30 ~ 15:45 会議室	山田局長		
		2) 病院及び看護部の組織と機能について理解する	II : 指導の下で出来る	講義				
		3) チーム医療の構成員としての役割を理解し協働する	II : 指導の下で出来る	講義				
		4) 同僚や他の医療従事者と安定した適切なコミュニケーションをとる	I : できる	コミュニケーションに関するワーク				
	グループワーク					16:00~ 16:30		
④	1) 自己評価及び他者評価をふまえた自己の学習課題を見つける	I : できる	クリニカルラダー	4/8 13:30 ~ 15:45 会議室	教育 新井 師長			
	2) 課題の解決に向けて必要な情報を収集し解決に向けて行動する	II : 指導の下で出来る	講義					
	3) 学習の成果を自らの看護実践に活用する	II : 指導の下で出来る						
	グループワーク					16:00~ 16:30		





領域	中項目	到達の目安	研修方法	日時	講師	理解度%	この研修で学んだこと、疑問に思ったこと
1 環境調整技術	1) 温度,湿度,換気,通風,照明,採光,騒音病室整備の療養生活 環境整備 (臥床患者・手術後の患者)	I : できる	講義 ビデオ視聴	4/30 13:30 ~ 15:45 会議室	尾賀師長		
	2) ベッドメイキング (臥床患者のベッドメイキング)	I : できる	講義				
	グループワーク			16:00~ 16:30			
2 食事援助技術	1) 食生活支援	II : 指導の下でできる	講義	5/10 13:30 ~ 16:30 会議室	森師長		
	2) 食事介助 (臥床患者・嚥下障害のある患者の食事介助)	II : 指導の下でできる	摂食嚥下訓練のワーク				
	3) 経管栄養法	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
3 排泄援助技術	1) 排尿排尿・排泄援助 (尿器・便器介助、可能な限り オムツを用いない援助を含む)	I : できる	講義・デモ	5/13 13:30 ~ 15:45 会議室	小野師長		
	2) 洗腸	I : できる	講義・デモ				
	3) 膀胱内留置カテーテルの挿入と介助	II : 指導の下でできる	DVD・デモ				
	4) 摘便	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
	5) 導尿	I : できる	講義・デモ				
	グループワーク			16:00~ 16:30			
4 活動・ 休息援助技術	1) 歩行介助・移動の介助・移送	I : できる	講義・デモ	5/14 13:30 ~ 15:45 会議室	海路師長		
	2) 体位変換 (例: 1) 2) について、手術後、麻痺等で 活動に制限のある患者等への実施)	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
	3) 関節可動域訓練・廃用性症候群予防	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
	4) 入眠・睡眠への援助	II : 指導の下でできる	講義				
	5) 体動・移動に注意が必要な患者への援助	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
	グループワーク			16:00~ 16:30			
5 清潔・衣生活援助技術 (全介助を要する患者・ドレーン挿入・点滴を行っている患者等への実施)	1) 清拭	I : できる	講義	5/17 13:30 ~ 16:30 会議室 特浴	武内師長		
	2) 洗髪	I : できる	講義・デモ				
	3) 口腔ケア	I : できる	講義・お互い実施				
	4) 入浴介助	I : できる	講義・特浴デモ				
	5) 部分浴・陰部ケア・オムツ交換	I : できる	講義・デモ				
	6) 寝衣交換等の衣生活支援・整容	I : できる	講義・実施				
6 呼吸・循環を整える技術	1) 酸素吸入療法: 中央配管、酸素ボンベ	I : できる	講義・見学	5/20 13:30 ~ 15:45 会議室	藤森副師長		
	2) 吸引 (気管内・口腔内・鼻腔内)	I : できる	講義・見学・実施				
	3) ネプライザーの実施	I : できる	講義・デモ				
	4) 体温調整	I : できる	講義				
	5) 体位ドレナージ	II : 指導の下でできる	講義・デモ				
	6) 人工呼吸器	IV : 知識としてわかる	講義・見学	6/10 13:30 ~ 15:45 会議室	藤森副師長		
			A5病棟で回路の交換				
	グループワーク						



領域	中項目	到達の目安	研修方法	日時	講師	理解度%	この研修で学んだこと、疑問に思ったこと	
7	創傷管理技術	1) 創傷処置	II: 指導の下でできる	5/21 13:30 ~ 15:45 会議室	禰創リンク 森師長			
	2) 褥瘡の予防	II: 指導の下でできる	講義・デモ					
	3) 包帯法	II: 指導の下でできる	講義・デモ					
		グループワーク			16:00~ 16:30			
8	与薬の技術	1) 経口薬の与薬、外用薬の与薬、直腸内与薬	I: できる	5/27 13:30 ~ 16:30 会議室	後藤副師長			
		2) 皮下・筋肉内・皮内注射	I: できる			講義・デモ		
		3) 静脈内注射、点滴静脈内注射	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		4) 中心静脈内注射の準備・介助・管理	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		5) 輸液ポンプの準備と管理	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		6) 輸血の準備・輸血中と輸血後の観察	II: 指導の下でできる			講義・実施		
		7) 抗生物質の用法と副作用の観察	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		8) インシュリン製剤の種類・用法・副作用の観察	II: 指導の下でできる			講義・デモ・実施		
		9) 麻薬の主作用・副作用の観察	II: 指導の下でできる			講義		
		10) 薬剤等の管理: 毒薬・劇薬・麻薬、血液製剤	II: 指導の下でできる			講義		
9	救命救急処置技術	1) 意識レベルの把握	I: できる	5/24 13:30 ~ 15:45 会議室	廣岡師長			
		2) 気道確保	III: 演習で出来る			講義・演習		
		3) 人工呼吸	III: 演習で出来る			講義・演習		
		4) 閉鎖式心臓マッサージ	III: 演習で出来る			講義・演習		
		5) 気管内挿管の準備と介助	III: 演習で出来る			講義・演習		
		6) 止血	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		7) チームメンバーへの応援要請	I: できる			講義		
10	症状・生体機能管理技術	1) バイタルサイン観察と解釈	I: できる	5/28 13:30 ~ 14:30 会議室 14:45 ~ 15:45 内科外来	新井師長			
		2) 身体計測	I: できる			講義・デモ		
		3) 静脈血採血と検体の取り扱い	I: できる			講義		
		4) 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	I: できる			講義		
		5) 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い	I: できる			講義		
		6) 血糖値測定と検体の取り扱い: 簡易血糖測定法	I: できる			講義・DT測定実施		
		7) 血糖値測定と検体の取り扱い: 1日血糖測定法	I: できる			講義		
		8) 心電図モニター・12誘導心電図の装着、管理	I: できる			講義・実施		
		9) パルスオキシメーターによる測定				講義・実施		
			グループワーク			16:00~ 16:30		
11	苦痛の緩和・安楽確保の技術	1) 安全な体位の保持	II: 指導の下でできる	6/3 13:30 ~ 15:45 会議室	大野副師長			
		2) 電法等身体安楽促進ケア	II: 指導の下でできる			後期		
		3) リラクゼーション	II: 指導の下でできる			講義・デモ		
		4) 精神的安楽を保つための看護ケア	II: 指導の下でできる			講義		
			グループワーク			16:00~ 16:30		



領域	中項目	到達の目安	研修方法	日時	講師	理解度%	この研修で学んだこと、疑問に思ったこと
12 感染防止の技術	1) スタンダードプリコーション（標準予防策）	I：できる	講義	6/4 13：30 ～ 15：45 会議室	感染 瀧上師長		
	2) 必要な防護用具（手袋、ゴーグル、ガウン等）の選択	I：できる	講義・PPE装着				
	3) 無菌操作の実施	I：できる	講義・実施				
	4) 医療廃棄物の規定に沿った適切な取り扱い	I：できる	講義				
	5) 針刺し事故防止対策の実施と針刺し事故後の対応	I：できる	講義				
	6) 洗浄・消毒・滅菌の適切な選択	I：できる	講義				
	グループワーク			16：00～ 16：30			
13 安全確保の技術	1) 誤薬防止の手順に沿った与薬	I：できる	講義	6/7 13：30 ～ 15：45 会議室	医療安全 明隅師長		
	2) 患者誤認防止	I：できる	講義				
	3) 転倒転落防止の実施	II：指導の下でできる	講義・KYT実施				
	4) 薬剤・放射線暴露防止の実施	II：指導の下でできる	講義				
14 看取りの看護	1) エンゼルケアについて		講義	6/11・6/17 13：30 ～ 16：30 会議室	エンゼル 森師長		
	2) グリーフケアについて		講義				
	3) エンゼルメイクの実施		演習				

